



BASE in OSAKAにログインし、「スピーチ練習」をクリック。

活用場面
一斉学習
教師による教材の提示

個別学習
個に応じた学習
家庭学習

協働学習
発表や話し合い



任意のテキストを生成AIにより音声化。さらに、自分の音読を採点+フィードバックしてくれる。

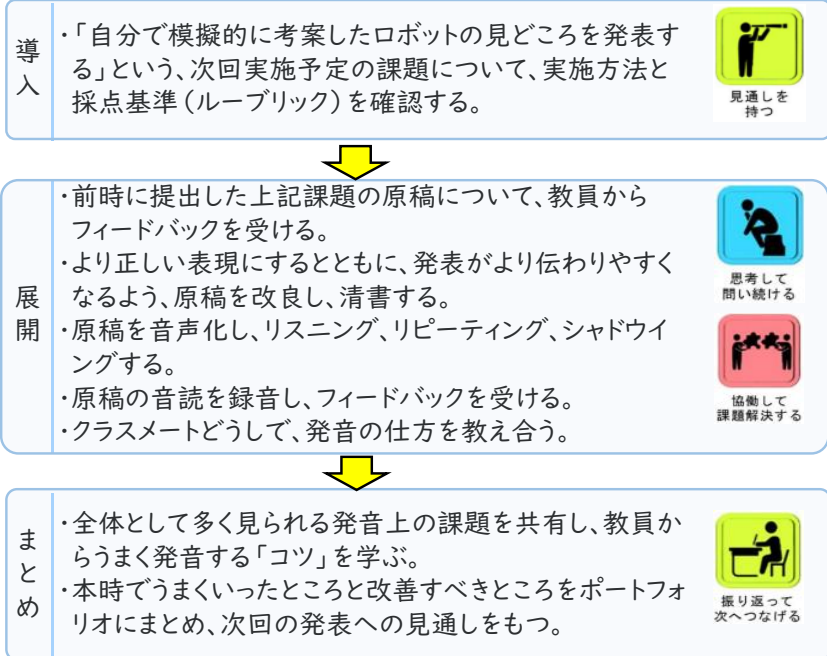
活用した機器等
Chromebook

活用したアプリ等
BASE in OSAKA
Google スプレッドシート

学習のねらい

- 適切な発音・アクセントを習得するとともに、音読活動やパフォーマンス課題における生徒の主体性を涵養する。
- 音読活動を繰り返すことで、4技能5領域のパフォーマンス向上を図る。

学習の流れ



ここでICTを活用!

- BASE in OSAKA で原稿を音声化する。
 - ①BASE in OSAKA にログインし、上部にある「スピーチ練習」をクリックする。
 - ②「+」ボタンを押し、「男性(アメリカ英語)」か「女性(アメリカ英語)」を選択する。
 - ③原稿を入力するか、コピー・ペーストする。
- BASE in OSAKA で音読練習をする。
 - ①「音読練習」と表示された項目をクリックする。
 - ②再生ボタンを押して、原稿を音声化したものを聞き、発音やアクセントを確認する。その後、リピーティングやシャドウイング練習を行う。
 - ③マイクボタンを押して、端末のマイクに向かって原稿を読み上げる。
 - ④採点結果(100点満点)と解答結果及びフィードバックを確認する。
- Google スプレッドシートに記録する。
Google スプレッドシートに、うまくできた点と課題を入力する。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

- 適切な発音で発声できているかどうかを人間ではなく機械が判定するので、生徒は恥ずかしがらずに活動することができる。
- 発声の結果はAIにより採点されるので、生徒は高得点をめざして自ら繰り返し音読を試みようとする。
- 単語ごとの評価が色分けされて表示されるため、自分の得意な発音、苦手な発音を確認しやすい。
- 音読速度も評価(一般的な中高生の平均速度との比較)されるため、1つ1つの発音だけでなく、文章や段落など、全体の流れも意識しながら読む練習にもなる。
- 生徒がつまずきやすい発音のデータを蓄積することができる。